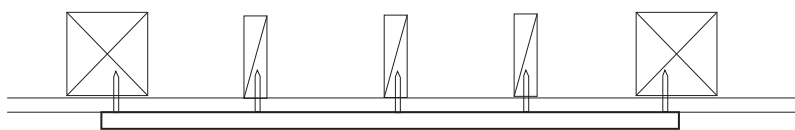


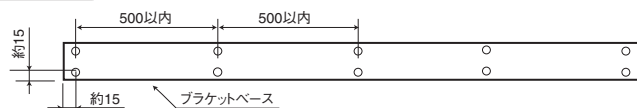


室内用補助手すりの取扱説明

〔ブラケットベースについて〕



取付穴位置目安



- ① 手すり設置場所の壁裏の柱の位置及び状態を確認し、使用するベース材の長さ・取付けネジの位置を決めます。
- ② ベース材を必要な長さに切断します。切断面にバリや角が出た場合は、紙ヤスリ等でなめらかに仕上げてください。(別売にて端部用ブラケットベースキャップもとおり揃えております。)
- ③ ベース材にガタつきがないか確認してください。ベース材と壁面との間にもガタつきがないかチェックし、ガタつきがあれば補修してください。その上到手すりをしっかりと取付けてください。

〔どこでも手すりについて〕

一般的な壁に取付ける (手すり取付けについて)を参照下さい。

浴室のタイル面に取付ける

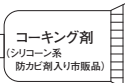
浴室のタイル面に取付けられる場合、堅固な下地を確認した上で、付属のビスとナイロンプラグとの併用をおすすめします。

- ① 取付ビス用下穴φ6
- ② ナイロンプラグを下穴にいれる(硬い場合は、ハンマーで軽く打ち込んで下さい)

※下穴加工時ドリルの使用は十分にご注意下さい。ドリルの先端が滑りタイル面のヒビ割れまたは、破損の原因にもなります。

- ③ 取付ビスをゆっくりとしっかり固定して下さい。
インパクトレンチなどで一気に締め付けるとプラグの内径が広がり、十分な取付強度が得られない可能性があります。最後にキャップをはめ込んで下さい。

(参考)
全下穴とナイロンプラグのビス穴に水対応のため、注入する事を奨めます。尚、注入後は硬化する前にすみやかに作業して下さい。

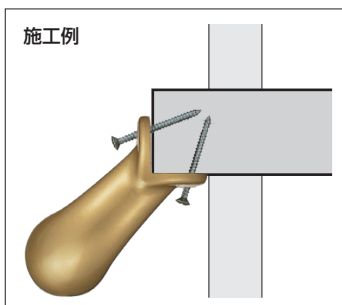


この方法はあくまで一般的な方法となります。取付面の材質や厚み建築構造により、付属ビスでは十分な強度を得る事ができない場合があります。その際は、販売店又は専門施工店にご相談下さい。ユニットバスへの後付けには、別途弊社に御相談下さい。

〔出隅ブラケットの施工時の注意点〕

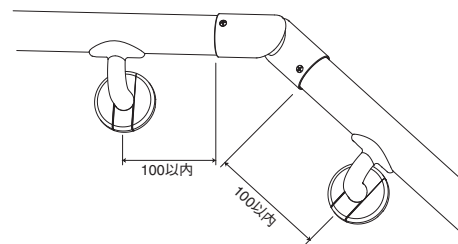
図のように付属ネジにて堅固な木製枠材等に固定してください。その際、ネジの交差する位置が可能な限り深くなる様に、ネジを打ち込む向きに注意してください。

BR-664 スリムブラケット出隅止の場合は、浅い位置でネジが交差すると、枠材が割れる恐れがありますので、ご注意ください。



〔自在ジョイント接続金具について〕

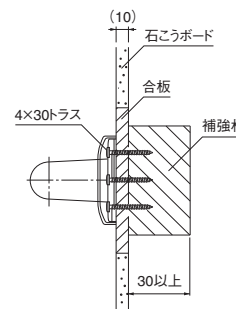
※自在ジョイントは、丸棒を壁面(ブラケット)に固定する前にコーナー部の角度やセンターに合わせて取付けて下さい。



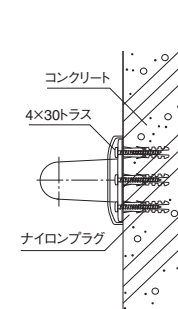
※自在ジョイント接続金具の両端から100ミリ以内の位置に、必ずブラケットを堅固な壁面に設けて下さい。手すりが外れたり折れてしまうことで、けがや重大事故につながる恐れがあります。

下地施工例

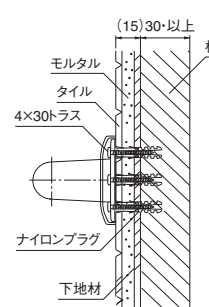
石こうボード壁



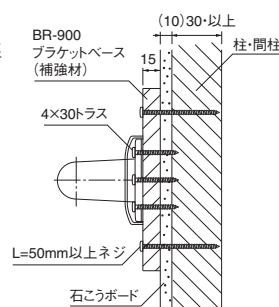
コンクリート壁



タイル+モルタル+木下地



石こうボード壁+後付け補強材



〔どこでもグリップについて〕

- ・既存の手すりに後付けで簡単に取付けられます。
- ・目的以外の用途には使用しないで下さい。
- ・取付けネジはしっかり締め込んで下さい。ナットがとも回りする時は指でナットを押さえて下さい。
- ・取付けは手締めのドライバーでおこなって下さい。
- ・BR-65-BR-66を浴室でのご使用は滑り易い状況もありますので、ご注意ください。
- ・BR-63-BR-64は屋外でもご使用になれます。
- ・取付ける手すりの材質によって十分な保持力が得られない場合があります。その際には両面テープを併用するなどしてしっかりと取付けて下さい。(P115掲載商品)

